

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★

ブラックホーク・ダウン

2002 (平成14) 年5月5日鑑賞

Data

監督: リドリー・スコット

出演: ジョシュ・ハートネット/ユ
アン・マクレガー/トム・サ
イズモア

<ショートコメント>

「世界の憲兵」たるアメリカ軍によるソマリアの独裁者捕捉作戦。「最新鋭ヘリブラックホーク」と100名の特殊部隊の活躍。またまたアメリカはカッコいい。というよりカッコよすぎてスーパーマンになっている。そのため何となく割り切れない感が強い。

アフガン問題やパレスチナ問題などが存在していることは現実であり、アメリカは世界の平和秩序を維持するため、これに関与、介入していること、その必要性があることはよくわかる。また「平和ボケ」日本の思考経路だけではダメなこともよくわかる。

しかし、最近のアメリカがつくるこの手の戦争映画でのアメリカ軍やアメリカ兵士はちょっとカッコよすぎはしないか・・・？

この映画のようにソマリアの独裁者を捕捉できるのなら、アメリカによるイラク「討伐戦争」が現実的テーマとして語られている今、戦争をしないでフセイン大統領を捕え、国際法廷にかけてその有・無罪を明白にすることはできないのか、とついつい考えてしまうが、どうだろうか・・・？

2002 (平成14) 年8月19日記